

## 健康格差～都民の病気や健康状態についての区市町村ごとの違い～

区市町村ごとの健康状態や健康行動の分布はいかがだったでしょうか。他の自治体の結果と比べ、自分の自治体の特徴が見えたかもしれません。また、全体の分布を見て、「都下の自治体でも結構差があるな」と感じたかもしれません。この差は、「健康格差」と呼ばれます。

健康格差とは、「住んでいる地域や社会経済的状态など、各人が置かれた社会的背景によって健康状態の違いやばらつきがあること」を指します。健康日本21では、第二次から健康格差の縮小が目標に掲げられており、「健康格差=小さくすべき/なくすべきもの」という認識が広まっています。

この認識は間違っていないです。しかし、何でもかんでもそうすべきとも限りません。人は色々な場所に住んでおり、教育機会、仕事、収入などの入手できる資源は人それぞれです。そのため、程度の違いはあれ、どんな健康指標にも何らかの格差は存在します。つまり、見方を変えれば、「格差」は「違い」「個性」とも捉えることが可能です。自治体で健康格差があると言いますが、状況が全く同じ自治体など存在しません。そのため、健康格差を考える際にはいくつかの視点を持って結果を眺める必要があります。

第一に、「どの程度か」という視点です。絶対的に大きな格差であれば、放置することは難しいでしょう。

第二に、「どのくらいの社会的影響を持つか」という視点です。是正しないことによって、社会に不利益が出るようなものは対策が必要です。例えば、市街地と山間部で医療資源へのアクセスに大きな隔たりがあり、移動手段を持たない山間部住民が医療サービスを受けられないほどの状態であれば、早急に対策すべきでしょう。

第三に、「是正可能か」という視点です。現実問題として、自治体の努力では解決が難しい格差も存在します。対策が難しい格差に取り組んでも、得られる成果は小さいでしょう。

健康格差を考える上では、以上のような視点を持ち、優先順位をつけながら効果的な対策を講じていく必要があります。